

# 3 未来を駆ける

4 ～新たな時代へ自らのリミッターを外そう～

5  
6 一般社団法人 亀岡青年会議所 2021年度 理事長所信

7  
8 理事長 浅田 信仁

9  
10 はじめに

11  
12 何気ない当たり前の日常が一瞬で壊された。新型コロナウイルス感染症の蔓延によっ  
13 て、私たち誰もが想像すら出来なかったフィクションの世界が現実となってしまった。私  
14 たちはもう元の世界には戻れない。人の尊厳を保つのに必要とされる信頼関係やコミュニ  
15 ティといった社会関係資本が根底から覆され、新たな社会基盤と生活様式の構築が急がれ  
16 ている。その中で私たちは個人として、青年経済人として、そして青年会議所として何を  
17 追い求めていくことが必要となるのだろうか。

18 この先は現状で誰も答えを見出せず想像すら出来ないような未来が待ち受けている。私  
19 たちは今まで当たり前だった既成概念を捨て、不安を払拭し新たな時代に向けて動き出さ  
20 なければならない。前向きな変化を描きながらトライ&エラーを繰り返し、新たな時代を  
21 模索していこう。そして、次代を担う子どもたちが誇りと希望を持てるまちづくりを進め  
22 ていこう。それが住まう地域に必要とされる唯一無二な亀岡青年会議所の存在意義を示  
23 し、私たちが導く明るい豊かな未来へ続くと信じて。

24  
25 青年会議所とはどのような団体、組織なのだろう。私は入会当初だけでなく理事役員を  
26 長年担当しながらも、その答えを探し続けて来ました。昔馴染みのルールや今のニーズに  
27 合わない習わしと風潮など、時代に即していないことは明白で、組織に飲み込まれないよ  
28 うに、常に客観的な視野を忘れずにいました。入会から8年が経ち、理事役員も6年目と  
29 なる月日が流れ、私なりに青年会議所のメリットとデメリットを少なからず理解してきま  
30 した。

31 私にとって青年会議所のメリットとは地域のことを考える人との巡り合わせであり、そ  
32 の繋がりで。人との出会いを通して、自己の成長や目標としての尊敬や憧れ、反面教師  
33 としての学びさえも、一緒の時間を共有することで、かけがえのない経験を得ることが出  
34 来ます。さらに、青年会議所には地域を飛び越え全世界へと広がる環境の中で、人と人を  
35 掛け合わせることで各々に潜在する秘めた魅力を輝かせることも出来ます。そんな素晴ら  
36 しい仲間たちが結集し巻き起こす運動は、地域に住まう住民や次代を担う子どもたちのみ

37 ならず、日本全体や世界へ通ずるスマートな組織としてまちを牽引する力を持っていま  
38 す。

39 デメリットとして上記で述べた時代に合わない組織体制以外に、単年度制ゆえに時間や  
40 資金の加減で事業の展開を現状維持に留め、失敗しないよう新たなことに挑戦しにくい風  
41 潮があります。また、現状の組織運営では目まぐるしく変動する時代へ対応も出来ていな  
42 い状況です。

43 青年会議所は会議を根幹に運動を展開する団体です。まずは今までの会議運営にメスを  
44 入れ、徹底的な時間の有効活用を図り、より効率的な議論を重ねる場を構築することが重  
45 要です。また、従来の会議及び事業構築の手法を踏襲するだけでなく、時にスピード感を  
46 重視し運動の停滞や恒常化の防止に努めることも重要です。PDCAのサイクルとは違う  
47 OODAループを取り入れ、予測不能な未来に向けトライ&エラーを繰り返すことで、プ  
48 ロセスを踏まえた事業と即時性の高い事業双方のメリットを最大限に活用することが出来  
49 ます。今年度は創立40周年を終え新たなビジョンを発信した翌年として、時代に沿った  
50 組織へと見直す良いタイミングだと私は考えています。ただ、無策で変化を求めても単に  
51 組織を潰すだけです。2021年度は新しい切り口を生み出す土壌を創出し、能動的当事  
52 者意識で地域の成長へ繋げる戦略を模索できる組織を目指して、まずは今までの概念から  
53 抜け出すところから始めましょう。そして青年会議所らしく議論を重ね、メンバー一人ひ  
54 とりの限界値を上げ知恵を絞り、今まで以上に地域から信頼される組織の構築を目指して  
55 いきましょう。

56 新型コロナウイルス感染症が渦巻く中、このまま変化を求めず惰性で組織が存続出来る  
57 ほど甘い時代ではありません。では、地域に必要とされる持続可能な組織には何が必要と  
58 なるのでしょうか？それは、私たちが住まう地域と亀岡青年会議所の問題を徹底的に分析し  
59 即時行動に移すことが重要です。組織運営の効率化を図り、人が集う学び多き機会を提供  
60 し、新たなネットワークの構築と未来へ繋ぐ次世代へ想いを馳せ、新たな時代に向けて組  
61 織全体のポテンシャルを高めて活性化していきましょう。そして、組織全体でいつまでも  
62 子どもたちの記憶に残るカッコイイ事業展開を構築し、まちに誇りと希望を感じてもら  
63 うことで、また次の世代へ想いが続く好循環を生みだそう。私たちは地域で一番カッコイ  
64 い人財が集う団体として、そんな華があるまちづくりを地域全体に繰り広げていきましょ  
65 う。

66

67

68 新たな組織の構築

69 ～組織の存在価値を高める未来に向けて、

70 時代に沿う新たな環境作りと発信へ命運を懸けよう～

71

72 創立40年を迎えた亀岡青年会議所は設立以来、先輩諸兄姉が脈々と組織を築き上げて  
73 こられました。組織の持続には運営の根幹となるルールが必要です。しかし、ルールに縛  
74 られて運動の展開が時代錯誤に陥ることは避けなければなりません。求められている運動  
75 を展開するためには現状に合ったルールに作り替えることが重要です。組織の基盤として

76 環境を整えることで、メンバー一人ひとりの想いを共有し大きな力を発揮することが出来る  
77 相乗効果が表れます。新たなツールを利用し合理的な組織運営を行うことは時間の有効  
78 活用にも繋がります。私たちは新たな環境を整えて臨機応変に対応できる組織を構築しま  
79 しょう。青年会議所の本質である活発な会議を重ねることでより良い事業へ繋げ、そのプ  
80 ロセスを通して個人の資質向上を図りましょう。そして、時代に沿った議案書やツールを  
81 利用し、議論する内容と時間を吟味し、更なる効果の向上を図る事業を構築して組織運営  
82 の限界を超えていきましょう。

83 コロナ禍で人と接しにくい時代に突入し、今まで以上に私たちの運動を波及する方法を  
84 模索しなければいけません。周りを見渡せば各種媒体の多様化によりリアルタイムで情報  
85 が手に入る時代になりました。私たちの運動をより広域に効率よく発信するためには、今  
86 まで以上にHPやSNSを活用し、メンバー一人ひとりが発信源となる組織として行動し  
87 ていかなければいけません。市民の賛同を得るためにも運動発信の視野を拓けていくこと  
88 が大切です。私たちは多種多様な情報ツールを用いて、コロナ禍で途切れてしまった人と  
89 人との繋がりを取り戻し、地域を巻き込む運動発信の限界を超えていきましょう。

90  
91

#### 92 新たな人財の拡大

93 ~魅力溢れる人財が集う未来に向けて、

94 スピード感のある新たな学びと拡大の展開を描けよう~

95

96 コロナ禍で社会全体が変わらざるを得ない世界となり、それに伴い地域が混乱の中、新  
97 たな一步を踏み出そうとする時に、私たちは一体何が出来るのでしょうか。過去の踏襲や  
98 助けを求めて依頼を待っている受け身の姿勢だけでは何も始まりません。新たな時代を切  
99 り拓くためには現状を把握し、変化を恐れず挑戦し続ける人財が必要です。青年会議所に  
100 集うメンバーは青年経済人としての側面も持ち合わせています。今まで以上に視野を拓  
101 げ、多角的に成長出来る新たな事業展開と多様な選択肢を会得する人財の創出へ繋げまし  
102 ょう。また、メンバーが誰一人欠けることなく学びを共有出来る環境を構築しましょう。  
103 そして、私たちは個々の資質を高め魅力ある人財が溢れる組織を構築し、人財育成の限界  
104 を超えていきましょう。

105 日々変化が起こる世界において、新たな価値を探り当てていた時代から変化を強制され  
106 る時代へと変貌しています。この状況下で活発な組織となるには多様性に満ちた人財を増  
107 やしていかなければいけません。特にコロナ禍で人と会えず、従来の会員拡大が通用しな  
108 い時代において、いかに柔軟な対応を適宜行動に移せるかが会員拡大において重要となり  
109 ます。いかなる状況下もスピード感を持って事業展開が出来るよう準備を行い、臨機応変  
110 に地域に浸透する会員拡大を推し進めましょう。そして数多くの新たな仲間を迎え入れ拡  
111 大の限界を超えていきましょう。

112

113

114 新たな連携の展開

115       ～仲間とともに期待が膨らむ未来に向けて、  
116       希望溢れる新たな協働と次代を担う青少年へ夢を架けよう～

117

118       私たちが住まう地域において、同じ環境下で協力し合う人たちと手を携えて行動してい  
119       くことは、地域に根付く組織にとってとても大切なことです。その中でも特に、未来を作り  
120       上げる子どもたちはかけがえのない大切な地域の宝物です。コロナ禍による閉塞感漂う  
121       生活環境の中でも、長期的な視野で子どもたちの豊かな発想を産み出す成長過程に向かい  
122       合うことが大切です。青年会議所は単年度で事業を構築することを基本とします。だから  
123       こそあえて単年で終わらない事業も検討し、各年で新しい要素を取り入れて発展し継続す  
124       る事業を見出す必要があります。また、その中で私たちが共に知見を得る機会を創出出来  
125       ます。私たちは地域の魅力を伝え次代を担う子どもたちを導くことが出来る事業を生みだ  
126       し、共育の限界を超えていきましょう。

127       また、私たちの運動をより広く展開するためには、同じ地域で活動する仲間との協力も  
128       必要です。色々な地域の同志や行政・関係諸団体の方達との関わり合いがもたらす友情や  
129       感情、心情等が私たちの成長過程において大きな要素となります。私たちは組織の資産と  
130       して、一人ひとりが大きく羽ばたくための場を繋ぎ、色々な環境で得た学びを組織として  
131       共有していかなければいけません。共にこの困難な時代に立ち向かう関係諸団体やコミュ  
132       ニティとの連携、他LOMとの協力や各出向での学びを通じて、今まで以上に連携の輪を  
133       広げ、新たな時代へ向けて協働体制の限界を超えていきましょう。

134

135

136       新たな管理の整備

137       ～より効果的な事業を開催する未来に向けて、  
138       的確で新たな規律管理体制と効果のある予算を掛けよう～

139

140       運動の構築には大小問わずお金が必要です。青年会議所は展開する運動に直接関与する  
141       親会を持たず、組織単独で収入と支出を捻出しています。メンバー一人ひとりが各々の事  
142       業費や運営費用のために年会費を払っています。この貴重な年間運用資金を1円でも無駄  
143       にしないように財務管理体制を整え、無駄な支出を防がなければいけません。しかし、担  
144       当が毎年変更となる単年度制度ゆえにデータ管理や財務管理、組織としてのコンプライア  
145       ンス管理体制について十分留意しなければいけません。今一度、メンバー一人ひとりが自  
146       律的に規律を守る重要性を学び、組織運営に携わる意識の向上を図らなければいけませ  
147       ん。特にここ数年、メンバー数減少による予算の使い道がより慎重となるため、今まで以  
148       上に透明性の高い財務管理体制を整える必要があります。ただ、コストカットばかりで使  
149       い道の無い余剰資金を積み上げるのではなく、新たな手法で資金調達を図り、より有効で  
150       効果的な事業を構築することが重要です。私たちは今まで以上に適切な情報・財務のチェ  
151       ック管理を行い、コストパフォーマンスに優れる効果的な事業を展開し、予算の限界を超  
152       えていきましょう。

153

154

155 むすびに

156

157 2020年度に一般社団法人亀岡青年会議所は創立40周年を迎え、2000年に策定  
158 された、かめおか新世紀ビジョン2020「世界に誇る環境先進都市（エコロジックミュ  
159 ージアムかめおか）」の創造の終着点となりました。それに伴い新たな中期ビジョンが策  
160 定され10年後の未来に向けて運動指針が示されました。しかし、新型コロナウイルス感  
161 染症の影響で計画していた創立40周年記念事業の開催が出来ませんでした。閉塞感が漂  
162 うまちを打破するために私たちは何が出来るのでしょうか。コロナ禍の状況でもスピード  
163 感を持って情報を集め協力を仰ぎ、新たな一步を踏み出す魅力溢れる事業を構築していく  
164 必要があります。周年事業としてメンバー一人ひとりが委員会の垣根を越えて1つのもの  
165 を創り上げることが、5年後10年後へ続くまちづくりの原動力となります。私たちは囚  
166 らずも開催出来なかった大切な事業を、時間を遡り新たな気持ちで再構築することで、亀  
167 岡青年会議所らしい事業を開催していきましょう。

168

169 亀岡青年会議所はこのまちに必要なのでしょうか。その問いの答えとして、私はこのま  
170 ちに無くてはならない唯一無二な存在だと確信しています。それは先の読めない環境下  
171 においても率先して活気あふれる地域の未来を描き、次代へ誇りと希望を抱かせる力がある  
172 組織だからです。ただ、何もせず時代に流されて変化を拒めばこの組織は消滅するでし  
173 ょう。刻一刻とスピードを速めて目まぐるしく世界規模で社会が変化しています。修正や補  
174 正では追いつかないことが増え、対応することだけに追われています。新たな時代へ進む  
175 ために壊すことを恐れてはいけません。無論やみくもに破壊するのではなく、綿密に情報を  
176 集め時代の流れを把握し実行することで、基礎を残し土台を作り替えることが可能となり  
177 ます。ただし忘れてはいけません。それは私たちの運動の根底とする青年会  
178 議所の「明るい豊かな社会の実現」という理念です。

179 今まで以上に何が起こるか分からない時代に私たちは何が出来るのでしょうか。その答  
180 えを追求し失敗を恐れずメンバー一丸となって1年間駆け抜けて参りましょう。そして、  
181 希望溢れる未来×亀岡青年会議所が新たな時代に必要とされる先駆者として、華があるま  
182 ちへと導いて参りましょう。

183

184

185 一般社団法人 亀岡青年会議所 2021年度 基本方針

186

- 187 1. 時代に沿う環境を作り一人ひとりが発信源となる 変える未来×組織情報  
188 2. 多角的に成長出来る学びと新たな展開で拡大する 広げる未来×人材育成  
189 3. 希望溢れる次代へ導く共育と協働体制を構築する 繋げる未来×地域連携  
190 4. 新たな管理体制の整備と効率的な予算執行を行う 学べる未来×財務審査